

助け合って、前進・飛躍する年に !!



今年も「健康第一」で

牧振興会理事長 五十嵐 修

明けましておめでとうございます。

旧年中は多くの皆様から牧振興会にご理解、ご支援を賜り、事業も着実に実施することが出来ておりますこと紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、寒さが増すこれからの季節は、風邪など感染症の流行が心配されます。「風邪は万病の元」と言われていますので気を付けたいものです。また、「健康第一」と言われますが、今更ながらなぜ「健康が第一」なのか。

元日本兵で終戦後も諜報員としてフィリピンのルバング島で戦っておられた小野田寛郎さんが話されたものです。『ジャングルの中で敵から身を隠しながら、食料もなく雨にぬれても眠ることが出来ない極限状況が続く。そうになると一番大事な仲間にさえも疑心暗鬼になり、敵だと思ってしまう。これは不健康になっているために正しい判断が出来なくなってしまうから。』とのことでした。

私たちは物事の判断をする時は今まで学んできた知識、経験に基づいて判断をしますが、その時に健康でないと誤った判断をしてしまうこともあります。小野田さんのお話は、命がかかった極限の時の例をお話しされたものですが、私たちを取り巻く社会環境が急速に変わり始めている中、私たちがこの地で暮らしていくのに何が必要なのか、皆さんと話し合いながら適切な判断ができる健康体でいたいものです。

皆さま共々健康で心穏やかに過ごせる一年であれと願って新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

牧区総合事務所長 小林 精子

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は市の行政運営に対し、ご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、2月上旬の大雪により「災害救助法」が適用されました。道路除雪や要援護世帯の屋根雪除雪支援では、町内会長様をはじめ、民生委員や地域の皆様、除雪業者の皆様の迅速なご協力のおかげで、生活への支障を最小限に抑えることができました。この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。

また、昨夏には高温と少雨の影響により、生活用水や農作物への影響が懸念される状況でありました。そうした中、牧の生活用水は確保されるとともに、正善寺ダムからの節水区域で暮らす方々への水の提供がなされたことは、牧区の方々のご協力の賜物であり、心より感謝いたします。稲作では、渇水により主食用米の収穫量が減少したものの、一等米比率が高かったことで農業に携わる方々が安堵されたことに私も一安心したところでございます。

さて、本年は「丙午（ひのえ・うま）」で、60年に一度巡ってくる縁起の良い年とされています。火の要素を持つ「丙（ひのえ）」と、力強く前進する「午（うま）」が組み合わさったこの年は、道を切り開く活力あふれる年と言われています。市といたしましても、牧区における人口減少の抑制を目指し、空き家状況調査を実施し、その結果を基に、定住促進につなげる取り組みを推進するとともに、体験イベント等を通じて牧区を知っていただき、移住につなげるようなPR活動を進めてまいります。

結びに、市民の皆様のご健康とご多幸を心から祈念し、新年の御挨拶といたします。

牧っこ秋まつり

ステージショー



牧保育園

牧小学校

「美紀会」

「あじさい会」

牧中学校

牧村民歌総踊り

小中合同「よっちょれ」

「牧っていいね！を体感しよう」をテーマに、11月1日に開催された今年の牧っこ秋まつりの実行委員長を務めさせていただきました羽深良一です。

心配された天候も、予報が外れて何とか雨に遭わずに終えることができました。昨年より若干少なかったものの、約550名の方がご来場くださいました。心より感謝申し上げます。実行委員会では、ご来場の皆様に少しでも楽しんでいただけたらと、いろいろ準備を進めてきましたが、いかがだったでしょうか。

今年の特徴として、まずステージ発表を午前中にまとめたことがあります。園児、小学生、中学生、そして文化協会の皆さんから日ごろの学習や活動の成果を披露していただき、さらに小中合同よっちょれで祭りを盛り上げて、最後に大勢の皆さんで牧村民歌を踊りました。

午後からは体育館を開放して、けん玉、紙飛行機、コマ回し、ごんぞ飛ばし、即席バッティングセンターなど、様々な遊びのコーナーを設け、また、集会室ではこれまでよりも規模を拡大したダンボール迷路を設置して、子どもも大人も楽しく体験、体感できるような工夫をしました。さらに、祭りの最後を締めくくる大抽選会では、今年は防災グッズをテーマにした景品を用意しました。

人口減少が進行し、中学校の統合も控える中、祭りのあり方についても多くの課題があります。今後もそれらの課題に即したより良い牧っこ秋まつりを目指していきたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。最後になりましたが、実行委員をはじめ、ご来場くださいました方々、祭りに関わってくださいましたすべての皆様に感謝申し上げます。

牧っこ秋まつり実行委員長

羽深良一



出店も賑わいました。今年は14店の皆さんからご協力いただきました。ありがとうございました。

規模を拡大した段ボール迷路

「牧っていいね」を体感！



「即席バッティングセンター」にチャレンジする子どもたち



牧中の皆さんが体育館を彩ってくれました。



よろばたの会の皆さんやわんぱく村の子どもたちの作品も展示されました。



フィナーレは大抽選会！今年の一等賞の景品は防災ラジオでした。



巨大・珍形農産物展…今年も倉下の佐藤久史さんのジャンボかぼちゃは健在でした。佐藤さんの昨年のかぼちゃの種で、初めてジャンボかぼちゃ作りに挑戦した皆さんからの出品もありました。



地域のお宝視察研修ツアー

公民館との共催で毎年行われている視察研修。今年は、日本スキー発祥記念館、金谷地区公民館、釜蓋遺跡及び上越妙高駅周辺に出かけました。



レルヒ少佐が日本にスキーを伝えた金谷山の記念館。

昨年、移転新築された真新しい金谷地区公民館です。



釜蓋遺跡ガイダンスでは、勾玉作りを体験しました。

今年も点灯しました
牧っこ雪まつり
イルミネーション



わんぱく村 in 高尾（デイキャンプ）

10月18日(土)、わんぱく村（子育て支援事業）第3弾として、高尾伏兵キャンプ場でデイキャンプを行いました。

7月に実施した竹灯ろう作りに引き続き、有田地区公民館との共同開催で、活動を通して交流を深めることができました。

ミッションは「美味しいカレーライス」、グループに別れてカレーライス作りに取り組み、味を競い合いました。食材は一緒なのに、どのグループも個性的な味になりました。



スタートは自己紹介



煙が目にしみるヨ～



おいしいおこげができました。



大人に見守られながら、包丁で野菜をカットします



味はどうかぁ～



いただきまぁ～す！

わんぱく村 第4弾「雪あそび(巨大すべり台)」

期日：令和8年2月21日(土)午後 ※「灯の回廊」と同日開催

会場：牧コミュニティプラザ前広場

※ 後日、園・学校を通して配布するチラシをご覧ください。

「おいしいカレーライス」コンテストの結果発表！



旧「よもぎの会」様より、寄付金をいただきました！

昨年度をもって解散されたNPO法人よもぎの会様より残余財産504,049円を譲り受けました。多額のご寄付に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(代表の依田三四子様から五十嵐理事長に手渡されました)



牧っこ雪上おんがく花火協賛金を募集しています

今年も灯の回廊「まき深山のともしび」と同日に、雪上花火の打上げを予定しています。昨年は大勢の皆様からご協賛いただきました。今年もご協力をよろしくお願い申し上げます。詳細はチラシ(全戸配布)をご覧ください。

- ・開催日 令和8年2月21日(土)
- ・打上時間 18:00～18:45
- ・観覧場所 牧児童遊園
- 申込締切 令和8年1月21日(水)
- 協賛金 個人 一口 3,000円
- 団体 一口 5,000円



～ あ と が き ～

今年も残すところわずかとなりました。この一年間、町内会長の皆様をはじめ、会員の皆様には大変お世話になりました。新しい年がより良い一年になりますように。皆様に元気をお届けできるような活動に、今後も努めていきたいと思ひます。どうぞ、来年もご協力よろしくお願いいたしします。皆様、良い年をお迎えください。

